

12月号

発行所
熊本県 大津町
大津町 中央公民館

印刷 大津 板本印刷所

広報 おおづまち

№. 238 昭和45年12月発行 毎月1回発行

人口の動き

出生	12
死亡	17
転入	58
転出	30
人口増減	4,540
世帯数	18,980
男性	9,075
女性	9,909

引越をしたら14日以内に
役場の窓口に必ず届出
(転入転居)をしましょう



木枯しの12月

交通事故激発の師走です

車に用心

火も用心

くる日も くる日も 交通事故により全国で
毎日2700人からの人が 死んだり傷ついたり
しています 杖とも柱ともたのむ主人が……
代れるものなら わが身をと願う愛児が……
骨をくだかれ血を流し さらに後遺症に日夜
なやまされ家庭の一家の支柱をなくして路頭
にまようご家庭 これが交通事故のもたらす
惨状です

暮らしに夢を
貯蓄にプランを

- 790

上水道改良工事

公聴会の結果

上水道改良工事計画の概要については、広報十月号でお知らせしましたが、この事業の遂行については関係住民の方々の世論を拝聴し、その意見を尊重して方針を決定するため、次の日程で各地区ごとに公聴会を開催し、地区住民の方々と話し合った結果がまとまりましたので、そのあらましをお知らせします。

一、実施した公聴会の日程
十月二十二日 高尾野公民館

二十三日 平川小学校構室
二十四日 大津町中央公民館

四日 引水公民館

五日 新村公民館

六日 灰塚公民館

六日 大津小学校構室

九日 室公民館

二、説明の概要
イ、現在の送水量一日最大約三千二百立方メートルは、近い将来不足を生じる心配があります。

ロ、平川、高尾野地区等現在飲料水に困窮している地区を解消し、住民福祉の増進に努めたいと思ひます。

ハ、現在の給水区域内における老朽配管の取り替え又は改良工事を行ない、供給の増大と給水の円滑化を計りたいと思ひます。

ニ、改良工事費約二億五千万円の内、一般会計の繰出金及び水道事業の積立金約二千五百万円を差引いた二億二千五百万円は借入金であって計画であります。

資は、豊富な飲料水を確保すると共に大津町の発展に寄与することから出ると考えます。

ホ、借入金は約〇年間に元利を償還するために現在の基本料金を一ヶ月十立方メートル二四〇円、量水器貸付料四〇円、合計二八〇円を五〇〇円程度（量水器貸付料を含む）に引き上げなければ、起債の償還や電力料金その他の維持管理費が困難となります。

又、平川地区や高尾野新古屋地区は、工事費が高くなりますので、各戸一万円の加付特別負担金、使用料は一ヶ月の基本料金を一、〇〇〇円程度御願しいたいと考えております。

尚、使用料の引き上げは、新しい水が給水出来る昭和四十八年から実施したいと考えております。

二、計画の概要
イ、計画の概要 各地区とも大津町の発展のためこの際先行投資により飲料水を豊富に確保する必要があるので、この計画の実現には全面的に賛成であるが、事業の実施については効率的な計画を期待するとの意見が大多数でした。

ロ、使用料 料金の値上げについて、出来るだけ安くするように努力してほしいとの意見が各会場共通した点です。その他営業使用料の制度を設けてほしいとか超過料金の軽減を考慮してほしい等の意見もありました。

ハ、その他

消火栓の未設置地区の解消に努めてほしい等の意見がありました。尚、公聴会後平川地区では関係住民の署名をもって、高尾野新古屋地区は代表者から給水加入の申し込みがありました。

以上簡単にまとめましたが、町では現在設計のための実地測量も終り、明年度からの着工を目ざし、着々と準備をすすめておりますので、皆様より一層の御協力をお願いします。

大津町振興

総合計画案まとまる

本年当初より策定中でした大津町振興総合計画案がこのほどようやくまとまり、十一月十二日嘱託会を開き、基本構想、基本計画につき助役より説明し、各嘱託員の意見を聴取しました。午後は最終的な審議会を開き委員の了承を求めました。

この案は十二月町議会に提出され可決されました。直ちに制本の上関係者に周知の予定です。

公営住宅竣工



立石団地の東端に7月より 第1種9棟18戸を建設中でしが 11月6日に竣工し、新しい入居者もきまりました

農業 コーナー



水田裏作に麦なたねの作付を

米の過剰傾向に対処するため、昭和四十六年度以降も米の減産対策が行なわれる情勢にあります、その中でも転作問題が重要な課題になっています。

この様な情勢にかんがみ通年休耕を回避し、土地の有効利用を図る観点から水田裏作の小麦、ビール大麦、及びなたねの生産を振興する必要があります。農林省では明年度の生産調整対策が行なわれる場合、水田裏作として昭和四十六年度小麦、ビール大麦及びなたねを作付し、表作水稻を休耕した時は表作の転作に準ずる取り扱いをする方針です。

水路改修と揚水施設

錦野団体営事業として着工
本事業は昨年実施致しました農業構造改善事業、錦野地区圃場整備事業の開通事業であり、起点は吹揚、道の出口より下流へ、一七五三米の改修と岩坂地区圃場整備地区の一部に揚水する揚水施設を行うものでありますが、工事施行中地域の方へはなお一層の御協力を御願ひ致します。

尚完工は三月二十七日の予定です。

農道整備事業着工

岩坂、陣地区、高遊原へ
高遊原台地に通ずる、岩坂地区、陣地区の農道整備事業が、着工の運びとなりました。両路線とも高遊原台地に通ずる重要路線であり本年度事業量は、岩坂地区施工延長六三〇米、陣地区の施工延長五二〇米となっており、工事施工中は地域の皆様の御協力を、なお一層お願い致します。

なお竣工は三月二十日の予定です。

大津北部集乳所新設着工

杉本地区に熊本県酪農協同組合連合会が昭和四十五年度事業として集送乳合理化計画による事業として工事着手しました。

二月二十八日完成四月一日に操業開始の予定、事業費は一三、〇〇〇千円で杉本、小林、今村、猿渡地域の酪農家一〇戸が利用することになり、一日当りの集送乳量六、〇〇〇ℓ、七、〇〇〇ℓで今後規模拡大とともに地域の酪農振興に資するものと期待されています。

大阪畜産社長賞に帆保義信氏

理想型青年

第一回全国鶏毛牛産肉能力共進会がこれほど大阪市の大阪食肉市場で開かれ理想型青年部は全国から四十頭が出品され解体検査の結果当時から出品された帆保義信氏(全国第二位)が大阪畜産

社長賞を授与されました。

優良家畜購入補助

一月末までに申請を
家畜の資質向上と改良普及促進を通じて町産業振興に資することを目的として次の要領により該当希望者がおれば申請下さい。

対象家畜 (肉用牛) (乳用牛)
申込期限 一月三十一日まで
資格 (肉用牛) 四十六年一月三十一日現在で生后三十六ヶ月未満の一般登録牛以上のもの
(乳用牛) 四十六年一月三十一日現在で生后三十六ヶ月未満の保証血登録牛以上のもの
申込方法 血統証及び印かん持参の上本人が直接経済課へ申込むこと

蚕業講習所の生徒募集

生糸の国内需要の伸びが高く外国からの輸入に依存しなければならぬ情勢であるため、稲作転換による農村経済振興の一翼として養蚕業が取り上げられました。このような時に多くの蚕業指導者や自営業者の必要に迫られ熊本県蚕業講習所では、来年度の生徒募集を始めましたので希望者は役場経済課に申出下さい。役場では募集要項に基き推せん決定致します。

募集人員 約二〇名

修業年限 本科二ヶ年 別科一ヶ年
受験資格 本科高校卒業したもの
別科中学校卒業したもの

出願期間 二月一日から三月二〇日
試験日 三月十五日

白バラコーナ—



明るく正しい選挙のために
誰でも出来る選挙運動

個々面接で投票をたのむこと
誰でも街頭で行きあった人
や、バスや電車の中であ
たま出合った人などに投票
を依頼することはさしつか
えありません。
電話によつて投票を頼むこと
電話を使用して友人等に投
票をたのむことはさしつか
えありません

東部教育研究会

11月18日

大津町の先生を対照にした教育研究
会(大津教研)が本年度より大津市陽明
会合し東部教研として発足した
二〇〇名の先生が大津小学校に集ま
つて午前中は研究授業、そのあと学年部
会、午后全体会、上田教育長挨拶のあ
つと福岡県社会教育指導主事赤勝先生
の「同和教育の進め方」について講演
を開いた。

スクールバスの横は

徐行しましょう

本年八月二〇日より道路交通法の一
部が改正され、「児童幼児等の乗降の
ため停車している通学通園バスの側方
を通過する車両等は徐行して安全を確
認しなければならない」とする規定が
新しく設けられました。

スクールバスの乗降者の安全が確保さ
れる様ドライバーに方に御協力を御願
いします。

農林大臣表彰

農林業センサス調査員
石橋 守氏(岩坂)

農林業センサス調査員として数次に
わたり調査に従事され、今回その功績

保護司に 芹川異氏(杉水)

が認められ、栄えの農林大臣表彰を受
けられたもの。表彰式は、十一月二十
七日農林省で行なわれ、皇居参観、夕
食会等、受彰者をねぎらう催しがあり
二十九日帰郷されました。

保護司は、「犯罪をした者の改善お
よび更生を助け、さらに犯罪予防活動
を助長する」ことを任務とし、刑事政
策の一端を担う重大な使命をもつてお
ります。

犯罪者のなかには住むに家のない者、
働らく意志があつても職のない者、社
会の悪環境におぼれやすい者等いろ
ろありますが、保護司はこれらの人々
の手をとつて勵まし善導して再犯を防
止するとともに地域社会の浄化に奉仕
しています。

一月十五日は成人式

該当事調査中です

S 25・1・16 S 26・1・15まで
に出生の人、調査もれの方は
中央公民館へご連絡下さい

十二月三十一日現在で

工業統計調査

この調査は、製造業に属するすべて
の事業所を悉皆的に調査する、いわゆ
る製造業に関する国勢調査です。
その目的は、製造事業所について生産
のために使用された生産要素および生
産活動の成果等について調査し、製造
業の実態を構造的に把握して生産活動
に関する基本的資料を提供すること
です。

調査員が一月上旬頃お伺いいたしま
すので、関係事業所のご協力をお願い
します。

おめでとうございませう

出生者

史 恵 山本政史 室
美砂子 日吉幸次郎 上町
薫 二 岩倉一誠 内牧
蕉 宇都雅一 大津
淳 也 坂本 学 岩坂
千恵巳 山東繁幸 杉水
ち亜己 合志信夫 大津
隆 行 上田 久 陣内
ちえ 樋口雄雄 陣内
治 美 今村治俊 灰塚
健 生 西村辰幸 矢護川

死亡者

今村 辰彦殿 矢護川
宮本 大蔵殿 森
大谷 エメ殿 引水
藤森 武雄殿 森
岩崎ハルキ殿 杉水
大塚カズエ殿 室
宇野紳二殿 高尾野
府内 清次殿 外牧
緒方 一男殿 岩坂
江藤 興市殿 大津
松野 ソデ殿 杉水
本田 虎雄殿

おくりやみ申しあげます



善意

善典返し

社協一般寄附金

五、〇〇〇円	吹田 林仁八郎殿
一〇、〇〇〇円	亡母キク殿
杉木 岩崎 貴殿	
五、〇〇〇円	亡妻ヘルキ殿
本町 大塚 豊殿	
養母ミサキ殿	
一〇、〇〇〇円	引水 大谷哲哉殿
亡母ヘミ殿	
二〇、〇〇〇円	馬場 宇野俊一郎殿
亡父光雄殿	
二〇、〇〇〇円	高尾野府内辨次郎殿
亡父清次殿他に五、〇〇〇円	
高尾野老人クラブ 指定寄附	
一、〇〇〇円	天草郡姫戸社協より
視察に際して	

オギヤール献金

一、〇〇〇円	鶴口 吉本 博殿
二、〇〇〇円	岩永雅一殿
一、〇〇〇円	岩坂 学殿

老人ホーム慰問

桜町 日野ミチ子様 酒二升、だんご
粉一、五K
一町民（氏名秘） 五〇〇円
下町老人クラブ代表帆保市蔵外一八名
様菓子五十四袋（七K）
熊本善意銀行様、毛布五十四枚

菊陽中学校堀内研一先生外職員二名生
徒四十名プラスバンドの演奏
大津小学校五年二組学級員代表者宮
本文字さん外三十一名午時一時より二
時迄の清掃奉仕。
本町一中村太様、小餅一、二K

善意銀行

預託 物品口座
中島老人クラブ（会長東安勇殿）より雑
巾三五枚
大津警察署下川巡査より落しもの古
傘を五本
弘出 物品口座
九月十八日、大雨で増水した中町、下
水溝暗きように学用品を流出した新小
屋、佐々英子殿（大津小六年生）へ手提
カバン。筆入。を購入贈与した。
十一月一日、直木（矢護山）通称矢護山
仙人へ毛布二枚購入寄贈した。

福祉相談

毎週火曜日
大津町社会福祉協議会
（老人憩いの家内）
生活問題、児童（老人）その他、
よろず問題について相談員が御相
談に応じます。心配ごとのある方
は御気軽に御利用下さい。
料金無料。秘密はたく守ります

老人憩いの家からお知らせ

定例休館日 毎週月曜日
休満日 二十七日（一月十日）

福祉事業功労者

宮崎太七氏（真木）

昭和二十年から現在まで民生
委員、児童委員として、長年の社会福
祉業務に対する功労により東京で、開
催された全国社会福祉大会において、
厚生大臣から表彰をうけられました。

首藤タ三 本田きつえ 大田黒よし子
合志春雄 川上武雄 村下健蔵
熊本県社会福祉大会の席上福祉事業功
労者として、大会々長から表彰をうけ
られました。

中陣内、若場子ども会（会員五〇名
十一月十二日、玉名市で開催された熊
本県子ども会大会で熊本県知事から優
良品とも会として表彰をうけた。



菊池郡市

老人作品展示会

十二月二十五日から三日間、菊池市
限府の県総合庁舎三階、大会議室で竹
細工、木工品、農工品、書画、編物
など老人の力作三百点が展示され、多
数の参観者でにぎわった。

当町、お年寄りの出品物三十点、入賞
者は次の通り

郡社会福祉協議会長賞	田中喜一（投票）
郡社会福祉協議会長賞	中島良一（花形棟）
大津町長賞	福永英敏（鳥籠）
佳作	帆保市蔵（口護）
佳作	坂井学（座敷はうき）

をお願いします。



大津中学校

十一月六日に文部省指定の新教育課程研究発表会が大津中学校で開催されました。

この研究は昭和四十七年度から実施される新指導要領の実施上の諸問題について特に困難であると思われる点を文部省で研究テーマとしてきめ国の中学校から二〇校を選びその研究を委嘱されたものです。

参加者は県内はもちろん九州各県から遠くは中国地方にもおよび約二百五十名にのぼり大盛況の中に、研究発表、クラブ活動、研究成果の発表、それらについての研究討議とが進められました。他校に先がけての研究であり会員の関心も深く熱心に研究が進められた

この研究の成果はすでに他県の教育研究会でも大津中学案として高く評価されている。

更生に暖い愛の募金箱

大津町更生保護婦人部では「愛の更生募金箱」を中央公民館をはじめ町内数ヶ所に設け皆様のご協力を呼びかけている。

「更生保護婦人部とは、罪を犯した人や、非行をした少年の更生協力や犯罪や非行のない明るい社会をつくらうとする篤志婦人の集まりです」



火の始末 人にたのむな任せるな

